

# 雷の子

いかずちの子

カトリック町田教会  
町田市中町 3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512



ヨハネ 19:26 <http://www.machida-catholic.jp/>



「婦人よ、ご覧なさい。あなたの子です。」  
それから弟子に仰せになった、  
「見なさい、あなたの母です。」

## 「みんな静かにしろ！」

主任司祭 アシジの聖フランシスコ 田中 隆弘

「その日、その時はだれも知らない。天使たちも子も知らない。ただ父だけがご存じである。人の子が来るのは、ノアの時と同じだからである。洪水になる前は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていた。そして、洪水が襲って来て一人残らずさうまで、何も気がつかずさうまで、人の子が来る場合も、このようである……。だから、あなたがたも用意していな

さい。人の子は思いがけない時に来るからである」(マタイ24:36-44)  
小学生を対象とした教会学校のリーダーをはじめとしたころのことでした。ある日、4年生の子どもたちのクラスで教えていると、いつものようにさわがしくなってきたのですが、その時、前から正義感の強い男の子でしたが、その子が立ち上がって、「みんな静かにしろ！先生はいっ

しょうけんめい話しているんだぞ！」と、まあ大声をあげて言ってくれたのです。

それは、とてもショックな出来事でした。つまり、わたしは人に何かを教えることがはじめてということもあつて、年間、学期、そして月ごとの、その日の教える内容を考えておき、今日はこのことを何がなんでも話そうと計画し、それを教えることに頭がいつぱいでした。しかし、その一言で、子どもたちはそんなわたしにブツブツいいながらも、つきあってくれていたのに対して、わたしは子どもたちがいま何を考え、何を求めているか、などということを想っていないかつたということを、その時はじめて気づかされたのです。

日常生活の中で、ともすればわたしたちは自分中心の、自分勝手なせまい計画をもっていることがあるような気がします。しかし、それに捕らわれると目の前の人、真の出来事の意味に気づかないことになるのではないのでしょうか。また、それは、せっかく目の前に待ち人が来たとしても気がつかない。その人が手をふって招いてくれているのに、また招こうとしているその気持ちに気がつかない人になつてしまう気がします。目を開

## 私の受洗物語

運営委員 ラファエラ・マリア 福富 英里子

き心を開いて、来るべきものを待つことができるように、

聖母マリアのとりつぎを願ひましょう。

今年から二年間、初めて運営委員を務めさせていただきました(副議長兼教会業務担当)。町田教会ではこれまでに、地域ブロック連絡会議長とヤコブ祭の有志代表を経験しました。現在、土曜学校(小学生)とたまごの会(未就学児)のお手伝いをしています。さて、私の受洗は二〇一六年ですが、キリスト教との出会いは子供の頃に遡ります。父方の祖父(曾祖父も)はプロテスタントのクリスチャン。祖父の家に遊びに行くと、牧師白井慶吉先生(四谷の千代田教会の創設者)の色紙があつたり、プレゼントが子供向けの聖書物語だったり。キリスト教の淡い気配を感じながら育ちました。

私がカトリックに目覚めたきっかけは、二人の娘のつくし野天使幼稚園入園でした。天使幼稚園には保護者対象の「宗教クラス」があり、長女が入園したての頃、高木神父様のクラスに乳児の次女を抱えて参加。が、心地よいテノールの声にウトウト。私にはキリスト教の勉強なんて無

理、と諦めてしまいました。時は流れ、今度は次女が入園し、主任司祭は小池神父様に。友人に誘われてクラスに参加。テーマは「旧約聖書」。アブラムから始まった物語は、ホワイトボードいっぱい生き生きと描かれました。そのとき初めて、果てしない存在が目の前に立ち現れたような気がしたのです。信仰の扉がバン！と開いた私は「今すぐ洗礼を受けたいです！」と神父様に懇願。しかし答えはノー。心の奥深くでイエスを感じてほしいと、一年かけて学ぶように言われました。情熱の炎を燃やしなが、夢中になってミサや講座に参加し、洗礼式(復活徹夜祭)を待ち望みました。この時間が私の信仰の揺るぎない土台になり、心から感謝しています。

私が受洗した後、娘二人も受洗。そして同年初、キリスト教に憧れながら洗礼を受けることなく病に倒れた父が、母の奔走により千代田教会で受洗しました。その翌年に亡くなった父。どうしようもない悲しみに打ちひしがれながらも、父の死を受け止めることが

できたのは、キリストの絆で父と確かに繋がっていると感じられたからだと思っています。不思議な御縁と繋がりによってここまで導かれました。町田教会のお役に立てれば幸いです。

### 新しいミサの賛歌

鈴木 節子

式文が変わり文言にも慣れてきた今年の四月から、町田教会ではミサの賛歌Bを歌い始めました。聖歌奉仕グループとして事前に練習をしていたにもかかわらず自分は譜面から顔を上げられずミサ中の司祭、先唱、会衆の祈りの言葉が式次第で追う事ばかりに囚われていました。ある時、祭壇のろうそくを見ていたら、言葉や節を間違えても神様はそんなことで咎めるはずがないから大丈夫だとふと思え、顔を上げて譜面なしで歌ってみると、会衆の皆さんの声が助けとなり、自然に歌えたのです。賛美と嘆願の祈りによって助けていただいたと感じた時でした。

「ミサの四つの「賛歌」は神の名の告知が基本となっています。開祭の二つの賛歌は呼び集められた一同とともに「感謝の賛歌」は自らを奉獻するキリストの前で、「平和の賛歌」は聖体として現存するキリストの前で、捧げられる歌です。四つの賛歌を構成しているもののうち、共通の願いを表す文言は、「いつくしみの賛歌」にまず示される「いつくしみを（わたしたちに）」です。この文言は「栄光の賛歌」でも「世の罪を取り除く主よ、いつくしみを（わたしたちに）」そして「平和の賛歌」でも「世の罪を取り除く神の小羊いつくしみを（わたしたちに）」という形で展開されています。感謝の賛歌には直接そのような文言はありませんが、二度繰り返される「ホザンナ」という聖書（マタイ21・9、マルコ11・9-10参照）に由来する賛美の定型句のうちに、実は同様の意味合いが含まれていると言われます。

主よ、キリスト、御父と御子に対する多種多様な呼びかけ、共におられる神とキリストへの端的な賛美と嘆願が相伴って賛歌を構成しており賛歌の味わいのもととなっています（聖書と典礼 ミサの式文の味わい）より抜粋）

他教会でのミサ曲への取り組みはわかりませんが、町田教会ではいづれ、まだ練習していないAとCにも取り組んでいくことになるでしょう。三つとも顔を上げて歌えるようになりたいです。皆さんと

### 識別についての講話から

## 行状 識別の意味

識別がより大きな愛、より成熟した愛のしるしとなるように！聖霊の導きを願いましょう！

識別は頭の中で、決断をする前に行うべき熟考のこと。

人が動物と違うのは選択を誤ること！

「…生きていたい、人生を味わいたいなら、あなたがたは造られたもの、善悪の基準ではない、行う選択は自身他者、世界にも影響を与えることを忘れてはならない」(創世記・16-17参照)

神は愛されることを望んでいる。愛は自由の中でしか生きれない。生きることを学ぶには、愛することを学ばなければ！そのために識別が必要！

識別を動かせるには犠牲も必要

よい魚を選び分けて悪い魚を投げ捨てる漁師 (マタイ13・47)

天使から復活を告げられて空の墓から戻ってきた女性たちの喜び (マタイ12・10)

長く過酷な旅を経て再び星を見た三博士の喜び (マタイ12・10)



共にミサで捧げる賛美はどんな時も誰にでも、代えがたく大切な時間です。ミサ曲を通して互いに寄り添い、神様への賛美を捧げ続けることができますように。

### ヨゼフ会黙想会

田澤 三郎

今年も町田教会ヨゼフ会は黙想会を実施致しました。ヨゼフ会は成人男子の会です。ヨゼフ会黙想会は年間の恒例行事で「汚れなきマリア修道会」の修道院で五月の最終週の土日に一泊二日で行います。主な内容は「祈り」「黙想」「指導司祭による講話とミサ」「全員が同じ食卓を囲む食事の時間」「ささやかな親睦会」「テーマに沿ったミニミニゼミナール」など「ゼミ合宿」のようなひと時です。今回の指導司祭による講話のテーマは「シノドス」です。「シノドス」とは、「ともに歩む」という意味で、教皇様の呼びかけで司教間の連携強化・信仰および倫理擁護と向上、教会活動の諸問題の研究が行われています。今回の講話では教会の現在の姿を見極めて将来につなげてゆく考え方が語られたと思います。教会内外の方々と助け合い、聖霊の力を借りて福音宣教をより広く行うことと社会の癒しや和解

のために信頼できる教会となるための道を目指します。

「ミニミニゼミナール」では、奥村一郎神父著「祈り」の一節「水分と水」および岡田武夫元東京教区大司教著「福音の呼びかけ」の一節「貧しいおとめマリア」の輪読と意見交換を行いました。地上を旅する人間にとつて「祈り」は神様との対話には欠くことのできないものであり誰もが無意識のうちに神様との対話があるが、それだけでは十分でなくて意識して神様に語りかける時間を持つことの大切さを「水分と水」を例えにして述べられています。

「貧しいおとめマリア」では人間が地上の旅を終えた後マリアさまのように体も天に上げられるというわけには行かないが新しい別の世界に移して頂き、新しい別の体、霊の体を頂き、あるいは主の再



臨の時に復活の体を頂き神のもとで生き、神のもとにある喜びを味わうためにしっかりと信仰を持ち続けることの大切さが述べられています。またルカの福音書の中から「富める人たちが優先されることなく弱い立場の人たちが大切にされること」について、マリアさまの強い願いが神様に向かってささげたお祈り賛歌の中で語られています。

「祈り」「黙想」の時間は静かに終わりました。田中神父様、汚れなきマリア修道会の皆様、参加者十名の方々のご協力に深く感謝いたします。またやりましょう。



### ワンポイント聖書 温故知新

他の小舟

あの湖上の嵐の出来事では、マルコだけが「他の小舟も一緒であった」(マルコ4:36)と書き残してくれた。小舟はskiffとあるから複数。1986年、ガリラヤ湖底で長さ8.2m、幅2.3mの朽ちた舟が見つかり、調査の結果西暦1、2世紀の舟と推定された。私はそれをキブツ・ギノサルで見したが、弟子たちもそんな小舟に分乗して沖に出たのだろうか。

ところが何と天候急変、嵐になった。漁師だった彼らはその危険を知悉していたから怯えた。だが、眠りから起きた主イエスは波風を一喝、瞬時に嵐を鎮め、彼らを諭された。それらは皆さんがよくご存知の通り。だからここで注目したいのは、そのことで

### 初聖体おめでとう

小2 赤堀 未來 (ミリアム)

イエスさま、ここにはいつてきてくれてありがとう。これからずっとすみつけてください。

〈ご家族から〉シスターのていねいな、愛のこもったレクチャーを重ねていくことに、初聖体の意味を頭だけでなく、心が理解し、向かっていく姿が印象的でした。

小2 鍋木 悟暉 (ラファエル) はつせいたいのおべんきょうがたのしかったです。はじめてごミサで食べたパ

### ③

余生風 佐藤 正明

は、他的小舟にいた弟子たちのことだ。嵐の間、主と一緒になかった彼らの恐怖はどれほどだったことか！それにしても、いったい嵐はなぜ急に止んだのか？

一瞬彼らはきよとんとし、全くわけがわからなかっただろう。思うに、「そうだったのかあ！」とわかったのは、対岸到着後、主がいた舟の弟子たちから一部始終を聞いたからに違いない。そこには証言する側の者と聞いて信じる側の者がいた。他的小舟の弟子たちは「見ないのに信じる者」の原型だったのだ。

二千年後の私たちが他的小舟にいるのに等しい。だからこそ彼らの体験から多くを学べる。ただし、私たちは信じている、見えなくても、主が共にいてくださることを。



ンのあじはこむぎこのあじが  
しました。おいしかったです。  
イエス様これからもぼくを  
見守ってください。

（ご家族から）これからもさと  
きくんがいつでもかみさまに見  
守ってもらい、平和で楽しい毎  
日をおくれますように。

小2 島田 結衣  
（マリア）

はつせいたいをまえにした  
べんきようでいろいろとやっ  
たので、イエスさまのことをす  
こしでもわかってきて、きも  
ちがどんどんやさしい気もち  
になったようにかんじました。

（ご家族から）結衣ちゃんがイ  
エス様からのお恵みをこれから  
もたくさんいただきそのお恵み  
に感謝し、その気持ちを大切に  
成長していくことができるよう  
に見守っていきたいと思います。

小2 三嶽 蒼楓  
（ミカエル）

おいしかったから、たのし  
かったしうれしかった。  
（ご家族から）ご聖体を頂き神  
様が体の中に入ってきてくだ  
さったから、蒼楓はますます元  
気でみんなと仲良くいられるよ  
うになりましたね。

小2 柳原 有造  
（ルカ）

パンをいただけで、たのし  
くてうれしかったです。  
（ご家族から）神様のお恵みを  
頂いて、強く歩んでいくことが

できますように。

小2 中島 光理  
（ルチア）

ついにはつせいたいをうけ  
られてうれしいです。

これからまいしゅう日曜日  
にミサでかみさまからの、お  
めぐみがもらえるのでうれし  
いです。たくさんはつせいた  
いのことを教えてくれてあり  
がとうございます。シスター  
がやさしく教えてくれたので、  
もつとイエスさまのことをい  
ろいろと考えてみたいです。  
本とうに、ありがとうございます

（ご家族から）子どもなりに考え  
感じ、お恵みをいただけたと  
で喜びを実感できたと思います。

小5 エヒエ 理緒南  
ステフニー

（エヒエリオナステフニー）  
私は、はつせいたいの際に  
とてもぎんちようして体が、  
かたまっていたけど、シス  
ターやすぎさん、はやしさ  
んのおかげでキリスト教の事  
について、とても深くするこ  
とができました。これからも  
神様からもらった命を大切に  
していききたいです。

シスターへ11本当にキリス  
トの事をたくさんおしえてく  
れ、ありがとうございます。  
シスターが教えてくれたこと  
を大切にします。  
（ご家族から）神様からの素晴

らしいメッセージを頂き、神様  
と共に居て祈る気持ちを大切に  
歩んで行ってほしいと思います。

星野倫淳神父初ミサ

6月9日



## 信者動静

2023年8月～  
2024年7月

（個人情報のため、削除しています）